

## 参考資料 - 2 出来形総括表の作成例

### 1 出来形総括表の作成

出来形総括表は工事の受注者が作成し、発注者はその内容を検査前に確認しておくこと。

また、出来形総括表には、工事数量表（設計図書）出来形管理内訳表（施工計画書中の出来形管理測定項目内容を充実させ、工事内容と測定項目を合体した出来形管理内訳表の作成）、数量集計表（参考資料）及び図面等を基に次の点に留意し記載すること。

- (1) 一行目には、施工延長等（施工延長、施工数量、施工面積、施工橋長、施工堤長）を記載すること。ただし、縦断勾配等により、管理のため水平距離と斜距離の延長を必要とする場合は、二段書きとし、上段に水平距離を、下段に括弧書きで斜距離を記載する。なお、その詳細として各測点間で管理し集計した内訳表を別途添付する。
- (2) 各工種（B - 1レベル）において、工種（B - 1レベル）、種別（B - 2レベル）、細別（B - 3レベル）を施工管理基準が定められているものまで、可能な限り一行で記載すること。
- (3) 各工種（B - 1レベル）において、工種（B - 1レベル）、種別（B - 2レベル）、細別（B - 3レベル）のいずれも施工管理基準が定められていない場合は、工種（B - 1レベル）のみを1式で記載すること。ただし、構造物撤去工等で処分費がある場合は、t数を記載する。また、共通仮設費に処分費がある場合もt数を記載する。（木根等処分費）
- (4) 土工については、工種（B - 1レベル）のみを1式と記載すること。
- (5) 種別（B - 2レベル）、細別（B - 3レベル）に施工管理基準が定められていないものは記載しない。（例：作業土工、調査・測量・設計費等）
- (6) 受発注者間での協議の上基準を定めたものは、施工管理基準が定められているものと同様とする。
- (7) 設計値欄には、1式以外は数量集計表より細別（B - 3レベル相当）の計算数量を記載する。また、延長管理のあるものは、工事数量表及び図面等より総延長（B - 3レベル相当）を記載すること。ただし、法面工等で延長管理の困難なものは面積等を記載する。

数量集計表の計上数量は積算で用いる数量であり、設計値は計算数量であることに留意すること。
- (8) 1式及び1基、1本、1枚等個数の場合は、整数止めとする。それ以外は、小数第3位を四捨五入し小数第2位表示とする。



### 3 出来形総括表記載例

#### (1) 水路工事

第\*\*号委託 数量集計表

A-1	A-2	B-1	B-2	B-3		C-1	単位	当初数量		摘要
工程区分	費目区分	工種	種別	細別	規格	積算要素		計算数量	計上数量	
水路工事	直接工事費	土工	掘削工	掘削	土砂		式	1	1	
						SP掘削	m3	619.6	620	
			整形仕上げ工	法面整形	砂質土		m3	1.0	1.0	
						SP法面整形	m	98.2	98	掘削部
			作業残土処理工				m	1.0	1.0	
				土砂等運搬	砂質土		式	1	1	
						SP土砂等運搬	m3	500.0	500	
				整地			m3	1.0	1.0	
						SP整地	m3	500.0	500.0	
			構造物撤去工	構造物取壊し	コンクリート構造物取壊し	鉄筋	m3	12.4	12	
						【構造物取壊し】	m3	1.0	1.0	
				殺運搬・処理	有筋		m3	12.40	12	・構造物撤去工において処分費がある場合は、種別毎にton数を記載する。 ・処分費が無い場合は、1式と記載する。
						ダンプトラック運搬(標準)	m3	1.0	1.0	
						産業廃棄物処理	ton	2.50	2.50	
		開渠工	作業土工	床掘り	土砂		m3	280.4	280	
						SP床掘り	m3	1.0	1.0	
				埋戻	砂質土		m3	360.0	360	
						SP積込(ルーズ)	m3	1.11	1.11	・作業土工は記載しない。
						人力土工(盛土・埋戻)	m3	1.00	1.00	
				基面整正			m	22.9	23	
						基面整正	m	1.0	1.0	
			現場打ち開渠工		トランジション		式	1	1	
				基礎砕石	再生Max40		m	9.00	9.0	
						SP基礎砕石	m	1.0	1.0	
				コンクリート	18-8-25		m3	0.45	0.5	均しコンクリート
						SPコンクリート	m3	1.0	1.0	
				型枠			m	0.40	0.4	均しコンクリート
						SP型枠	m	1.0	1.0	
				コンクリート	21-8-25		m3	3.29	3.3	
						SPコンクリート	m3	1.0	1.0	
				型枠			m	22.9	23	
						SP型枠	m	1.0	1.0	
				鉄筋	SD295A,D13		t	0.415	0.415	
						【鉄筋工】	t	1.0	1.0	
				目地材	10mm		m	1.6	2	
						SP目地版	m	1.0	1.0	
			プレキャスト開渠工				式	1	1	
				鉄筋コンクリート管	BF800		m	30.0	30.0	
						【排水構造物工】	m	1.0	1.0	・規格は記載せず、合計延長で記載する。
				鉄筋コンクリート管	BF1000		m	30.0	30.0	
						【排水構造物工】	m	1.0	1.0	
				基礎砕石	再生Max40		m	30.0	30.0	
						SP基礎砕石	m	1.0	1.0	
				コンクリート	18-8-25		m3	1.9	1.9	
						SPコンクリート	m3	1.0	1.0	均しコンクリート
				型枠			m	2.0	2.0	
						SP型枠	m	1.0	1.0	均しコンクリート
				鉄筋コンクリート大型管			m	20.15	20.2	種 H1.3*B2.0*L2.0
						鉄筋コンクリート大型水路機械据付工	m	1.0	1.0	
			分土工	分土工			式	1	1	
				分水槽	1.0*H1.0		箇所	1	1	
						鋼製蓋	基	1	1	
						【排水構造物工】	枚	1	1	
		水路付帯工	安全施設工				式	1	1	
				横断・転落防止柵	ビーム式		m	120.4	120	
						【横断・転落防止柵設置】	m	1.0	1.0	
			用地境界工				式	1	1	
				境界工	12*12		本	30	30	・法面工等、延長管理が困難なものは面積等を記載する。
						コンクリート境界杭設置	本	1	1	
		法面工	植生工				式	1	1	
				人工芝付	人工芝		m	316.7	317	
						芝付工	m	1.0	1.0	
		直接工事費					式	1	1	
		(仮設工)	仮設工	仮設道路工			式	1	1	
				工事用道路補修	RC-40		路線	1	1	
						道路補修工(未舗装)	m	600.0	600	・任意仮設は、B-1レベルのみ記載し、数量は1式とする。 ・指定仮設で施工管理基準が定められている場合は、B-2レベル以下も記載する。
				排水処理工			式	1	1	
				排水ポンプ(仮設)	0~6未満	排水ポンプ用差込設置・撤去	箇所	1	1	
						排水ポンプ運転(小口径)	箇所	1	1	
						排水ポンプ据付撤去	箇所	1	1	
						排水ポンプ用差込設置・撤去	箇所	1	1	
		準備費					式	1	1	
			共通仮設(積上げ)	準備費			式	1	1	
				木根等処分			m3	4.1	4	・共通仮設費は記載しない。 ・ただし、処分費がある場合はton数を記載する。
						運搬(伐開、除根、除草)	空m3	1.0	1.0	
						産業廃棄物処理	ton	0.55	0.55	
		技術管理費	共通仮設(積上げ)	技術管理費			式	1	1	
				歩掛調査			式	1	1	
						歩掛調査費	式	1	1	

・土工の記載はB-1レベルのみとし、数量は1式とする。

・構造物撤去工において処分費がある場合は、種別毎にton数を記載する。  
・処分費が無い場合は、1式と記載する。

・作業土工は記載しない。

・基礎砕石等はトランジションの構成要素のため、記載しない。  
・図面に延長が示されている場合は、延長を記載する。

・規格は記載せず、合計延長で記載する。

・基礎砕石等は大型プレキャストの構成要素のため、記載しない。

・法面工等、延長管理が困難なものは面積等を記載する。

・調査・測量・設計業務は記載しない。

・任意仮設は、B-1レベルのみ記載し、数量は1式とする。  
・指定仮設で施工管理基準が定められている場合は、B-2レベル以下も記載する。

・共通仮設費は記載しない。  
・ただし、処分費がある場合はton数を記載する。



\*\*年度

(\*/\*)

工事番号 県局農水(整工)第\*\*号

工事名 第\*\*号工事

### 出来形総括表

受注者(株) 建設

現場代理人

測定者

工事区分	工種	種別	細別	単位	設計値	実測値	検査値	摘要
水路工			施工延長	m	103.46	103.50		
	土工			式	1	1		
	構造物撤去工	コンクリート構造物取壊し	コンクリート殻(有筋)	t	31.00	31.10		
	開渠工	現場打ち開渠工	トランジション	m	4.00	4.00		
		プレキャスト開渠工	パンチフォーム	m	60.00	60.04		
			鉄筋コンクリート大型フォーム	m	20.15	20.15		
	分水工	分水工	分水槽	箇所	1	1		
	水路付帯工	安全施設工	横断・転落防止柵	m	120.40	120.42		
		用地境界工	境界杭	本	30	30		
	法面工	植生工	人工芝付	m <sup>2</sup>	316.70	316.85		
	仮設工	工事用道路工	工事用道路補修	箇所	1	1		
	共通仮設(積上げ)	準備費	木根等処分	t	2.26	2.30		
最終行には、一行以上の空欄を設けること。								

一行空欄を設けること。

6cm以上スペースを設けること。

上記のとおり検査確認いたしました。

\*\*年\*\*月\*\*日

検査者所属

職氏名

← 6cm以上スペースを設けること →

検査者所属

職氏名

(2) 舗装工事

第\*\*号委託 数量集計表

A-1	A-2	B-1	B-2	B-3		C-1	単位	当初数量		摘要
工程区分	費目区分	工種	種別	細別	規格	積算要素		計算数量	計上数量	
舗装工事	直接工事費	土工	盛土工	購入土盛土			式	1	1	
						山土	m3	90.3	90	
						SP積込(ルーズ)	m3	1.33	1.33	
						人工土工(盛土・埋戻)	m3	1.11	1.11	
							m3	1.00	1.00	
		舗装工	舗装準備工				式	1	1	
				不陸修正	補足材なし		m <sup>2</sup>	2,880.0	2,880	
						SP不陸修正	m <sup>2</sup>	1.0	1.0	
			アスファルト舗装工	本線			式	1	1	
				上層路盤(車道・路肩部)	M-40、15cm		m <sup>2</sup>	2,880.0	2,880	
						SP上層路盤(車道・路肩部)	m <sup>2</sup>	1.0	1.0	
				表層(車道・路肩部)	再生密粒度As13、4cm		m <sup>2</sup>	2,840.0	2,840	
						SP表層(車道・路肩部)	m <sup>2</sup>	1.0	1.0	
				表層(車道・路肩部)	密粒度As13F、3cm		m <sup>2</sup>	2,800.0	2,800	・規格は記載しない。
						SP表層(車道・路肩部)	m <sup>2</sup>	1.0	1.0	
			アスファルト舗装工	進入路			式	1	1	・進入路等、延長での記載が困難な場合は、箇所数を記載する。
				表層(歩道部)	密粒度As13F、3cm		m <sup>2</sup>	129.8	130	
						SP表層(歩道部)	m <sup>2</sup>	1.0	1.0	
		付帯施設工	区画線工				式	1	1	
				区画線	熔融式		m	800.0	800	
					実線、15cm	【区画線】	m	1.0	1.0	・規格は記載せず、合計延長を記載する。
				区画線	常温マニツ式		m	199.5	200	
					破線、15cm	【区画線】	m	1.0	1.0	



工事区分	工種	種別	細別	単位	設計値	実測値	検査値	摘要
舗装工事			施工延長	m	400.00 (400.05)	400.06		
	土工			式	1	1		・上段に水平距離を、下段に括弧書きで斜距離を記載する。
	舗装工	舗装準備工	不陸修正	m <sup>2</sup>	2,000.00	400.56		
		アスファルト舗装工	上層路盤工	m <sup>2</sup>	2,000.00	400.56		
			表層	m <sup>2</sup>	2,000.00	400.56		
	付帯施設工	進入路工	表層	箇所	10	10		
		区画線工	区画線	m	999.50	1,001.50		